

令和6年度 大野城市

通学路合同安全点検

実施状況

※点検実施者:警察・道路担当者・市防犯担当・教育委員会・学校

大野小学校



① みずほ保育所前高架下(瓦田1-6-17)

番号	状況	対策	実施者	対応状況
①	高架下通路に歩道が設置されなければ車との接触が考えられる。	歩道整備	市	令和7年8月完了

大野北小学校



番号	状況	対策	実施者	対応状況
②	高架化により車のスピードがあがっているので、安全確認のための「カーブミラー」を設置してほしい。	カーブミラーの設置を検討	市	R7年度以降
③	横断歩道がない方にグリーンベルトがあり、横断歩道がある方にはグリーンベルトがない。	横断歩道増設は不可。 点滅信号を撤去及び歩行者横断歩道の標識の設置を検討	警察	R8年度撤去及び設置の検討
④	横断歩道で車が停止せず、児童が横断できない。	取り締まりの実施	警察	随時
⑤	草木が生い茂ると、人が潜むことも考えられる。	植栽の剪定	市	随時

大野南小学校



番号	状況	対策	実施者	対応状況
⑥	歩道と車道の区別がわかりにくいため、歩行者と車がぶつかる可能性が高い。通学路ではないが、放課後等、この道路を利用する頻度が多い	外側線を引き直したため、グリーンベルトの設置は不可。	市	-
⑦	交通量が多いため、児童と自転車、自動車が衝突する可能性が高い。	右折車が少ないので、現状右折できている。 警察本部の判断で右折信号設置は不可。	警察	-
⑧		中央線を点線から実線に引き直し	市	令和7年10月完了

大利小学校



番号	状況	対策	実施者	対応状況
㊸	通学路だが道路が狭く、1学期に本校職員が児童との接触事故を起こしている。	交差点マーク(T字)の路面表示	市	令和7年10月完了

平野小学校



番号	状況	対策	実施者	対応状況
⑩	DO ゼミナール前の横断歩道に信号無視やスピードを出して車が突っ込んでくる。	巡回の実施	警察	随時
⑪	登下校中や公園に向かう児童が横断歩道のない三叉路を横切り危険	警戒標識・表示等の設置は現状必要なしと判断	市	—
⑫	信号無視の車が多い。	巡回の実施	警察	随時
⑬	平野接骨院を過ぎたところの平野橋に隙間があり、子どもがはいれる隙間があり、落ちそうで危ない。	柵の設置の検討	市	令和7年度以降
⑭	大通りの抜け道として、朝の登校時間にスピードをあげて住宅街に入ってくる。子供だけでなく、年配の方も多く、接触事故になりそうだ。	車両通行止めは地元住民の同意が必要のため不可	警察	—
		歩行者等の安全確保のため、片側外側線を引く。	市	令和7年10月完了

大城小学校

⑮ 現人橋乙金線(博多ほがや前)



番号	状況	対策	実施者	対応状況
⑮	新しくできた住宅街から来る児童や中学生の登下校時、車の往来が多いにもかかわらず、横断歩道がないため危険である。 ※バス通りにもなっている。	(R5 結果)坂道の頂上付近のため横断歩道は危険であり、信号交差点から近距離で設置不可。 (R6)学校は引き続き設置を要望。今後継続検討が必要	警察	—

下大利小学校



番号	状況	対策	実施者	対応状況
⑩	遠回りを避けてマンション前の道路を横断することがあり危険であること、細道を車が入り出すことで歩道に侵入し、通行が危険な状況となること、さらに登下校時に下大利前田線で車両の速度が高くなり危険性が増していること。	横断歩道の新規設置を県警本部に上申したが、審議の結果、カーブのため設置不可との判断であった	警察	—
		<ul style="list-style-type: none"> ・車両の減速を促すためのカラー舗装化(R6 年度実施済み) ・路側帯グリーンベルト(R6～7 年度実施) 	市	令和7年2月完了
⑪	信号のない横断歩道において、県道から進入する車が多く、スピードを落とさず三叉路交差点を通過することが目立つ。また、子どもたちが利用する横断歩道は薄くなっており、標識も少なく安全対策が不十分である。	巡回の実施。横断歩道塗り直し。	警察	令和7年3月完了
		カラー舗装、区画線の更新。交差点に赤線の枠を設置。	市	令和7年2月完了

下大利小学校



番号	状況	対策	実施者	対応状況
⑱	白木原・下大利線は交通量が多く、複数の路線の車が交差する地点となっている。横断歩道が薄く見えにくい。	横断歩道塗り直し	警察	県警本部へ上申済
⑲	朝の出勤時間、大通りへの自動車渋滞により横断歩道が塞がれることが多く、子どもが車の間を歩いて道路を渡ることがある。また、渋滞中の車が車線をはみ出し、他の車との接触が発生する危険がある。	巡回の継続実施	警察	随時
⑳	朝の通行時間帯(7:30～8:20)に進入禁止の一方通行を守らない車があり、特に学校前の橋付近の横断歩道で登校中の子どもたちにとって危険な状況が発生している。	巡回の継続実施	警察	随時

御笠の森小学校



番号	状況	対策	実施者	対応状況
①	歩車分離の大きな交差点であるが、歩行者用青信号が 20 秒間と短く、登下校する児童にとって交差点の(対角線)横断が難しい(現状は 2 段階横断をする児童が多い)。	本来 2 段階横断が正しい渡り方である。歩車分離で各信号の時間が短くなっているのは、歩行者の安全確保のためであるので、対応不可	警察	—
②	仲島公園やファミリーマートへ向かう子どもの横断が多い道路で、横断歩道がなく、自動車の交通量が多い上、緩やかなカーブで見通しが悪く危険である。	カーブなど危険な箇所には横断歩道の設置不可	警察	—
		減速マーク設置	市	令和 7 年 10 月完了

月の浦小学校



番号	状況	対策	実施者	対応状況
③	朝の登校時に交通量が極めて多くなる。当該三叉路にはポールがたっており、歩道には「とまれ」の標識も書かれているが、合流する車両が早く入ろうとするために児童と車両が接触する危険性が高い。	地元住民の通行が主であるため、住民への注意喚起が必要である	警察	-

大野中学校



②④ 白木原 3-4-12

番号	状況	対策	実施者	対応状況
②④	車がスピードを出す。	交差点注意喚起のため交差点に赤線の枠を設置	市	令和7年10月完了

大野東中学校



番号	状況	対策	実施者	対応状況
⑫	かなりの交通量だが、乙金イオン方面に行く車道の信号がなく、以前に車同士の衝突があった。生徒が通行する横断歩道の設置や、信号機は設置されているが、車道の信号機がなく、特に右左折において危険である。	停止線の更新。要望された信号機追加については、定周期信号は中央線が引ける幅員が必要であるため不可	警察	県警本部へ上申済
		路面表示の更新	市	令和7年10月完了

大利中学校



番号	状況	対策	実施者	対応状況
②⑥	車両及び自転車通学の高校生の通りが多く、児童生徒の登下校時に危険。	踏切東側歩道にはポール設置済み。西側道路入り口には通学路標識設置済み。 ガードレールは連続性が保てないので不可。 歩道の拡幅は、周辺の私有地を獲得する必要があり、対応は困難。JRへ踏切遮断時間の短縮は要望済み。	市	—
		防犯カメラの設置	市	令和7年3月完了